

目次

序章 計画策定にあたって

1	計画策定の趣旨	2
2	計画の位置づけ	2
3	計画の期間	2

第1章 農業・農村の現状と課題

1	農業・農村を取り巻く情勢	
(1)	国内外の情勢	4
(2)	本県の農業・農村の情勢	4
2	おおいたの農業農村整備の現状と課題	
(1)	農業の競争力強化に向けた構造改革	6
(2)	農業水利施設等の機能確保	6
(3)	農村地域における多面的機能及び集落機能の維持	7

第2章 農業農村整備の展開方向

1	施策体系	10
2	農業農村整備の施策別展開方向	
(1)	構造改革の更なる加速に向けた生産基盤の整備促進	
	ア. 担い手への農地の集積・集約化と生産コストの削減に向けた基盤整備	12
	イ. 園芸産地の確立と多様な担い手の確保・育成に向けた基盤整備	16
	ウ. 水管理の省力化と効率的な農業水利システムの構築に向けた基盤整備	20
(2)	農業水利施設等の適正な保全管理による長寿命化や防災・減災対策の推進	
	ア. 農業水利施設の適時・適切な整備更新	24
	イ. 災害に強い農村づくりに向けた防災・減災対策	28
	ウ. 土地改良区の運営基盤の強化による施設の適正な維持管理	32
(3)	多面的機能の維持保全と快適な生活環境の整備促進	
	ア. 地域の共同活動による農業・農村の多面的機能の適切な維持保全	36
	イ. 快適で元気に暮らせる生活環境の整備	40
3	大規模プロジェクト	42

第3章 施策展開にあたって特に留意すべき事項

- 1 農地の集積・集約化に向けた基盤整備の進め方 ————— 44
- 2 生物多様性の保全に配慮した整備の推進 ————— 45
- 3 公共事業評価による事業評価と県民への説明責任 ————— 46
- 4 広報活動 ————— 47